２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた道路標識の改善を推進

国土交通省は、２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、訪日外国人をはじめとする様々な来訪者にとって、さらにわかりやすい案内となるよう、千葉、埼玉、神奈川県内において、道路標識の改善を推進することとした。

【ポイント】

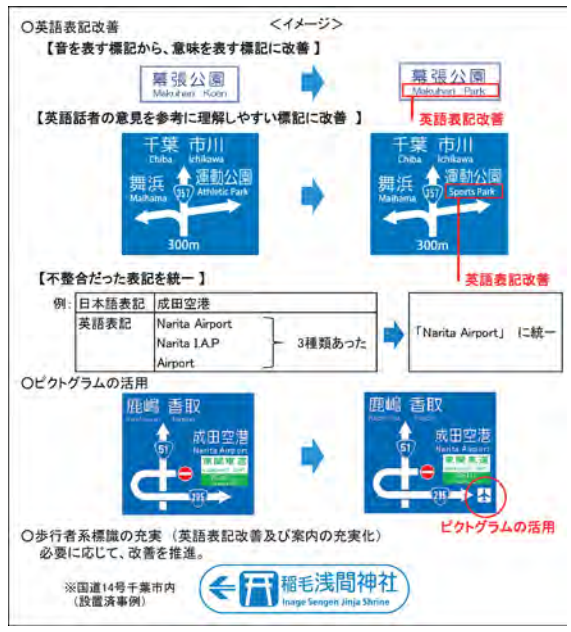
①千葉県、埼玉県、神奈川県の道路標識適正化委員会（注）において、２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた道路標識改善の取組方針を作成した。

（注）各県に設置され、関係する道路管理者が参画し、標識等の表示内容等を検討する委員会

②今後、各道路管理者は、同方針に則り、道路標識改善を進めていく。

※東京都内については、本年1月に、道路標識適正化委員会東京都部会において、道路標識改善の取組方針を作成し、同方針に則り、道路標識改善を推進している。

取組内容



高速道路に関するお知らせ

平成28年9月11日（日）

東北中央自動車道　福島ＪＣＴ～福島大笹生ＩＣ開通

～観光・農業の振興等に貢献～

国土交通省、福島県、ＮＥＸＣＯ東日本が事業を進めてきた東北中央自動車道のうち、福島ＪＣＴから福島大笹生ＩＣまでの延長１・４㎞が９月11日に開通した。

今回の開通により、温泉地や観光果樹園へのアクセス向上により、観光・農業振興を支援、福島西部地区工業団地へのアクセス向上により、企業活動を支援、県内有数のスポーツ施設へのアクセス向上により、スポーツ交流拡大を支援等の効果が期待される。

【開通日】

平成28年9月11日（日）

【開通区間】

東北中央自動車道（福島ＪＣＴ～福島大笹生ＩＣ）／延長１・４㎞

【開通効果】

①観光活性化に寄与

福島市西部には、「くだもの狩り」、「飯坂温泉」など福島市の魅力あふれる観光地が集積しており、震災後に減少した観光入込客数は近年は回復の傾向にある。福島大笹生ＩＣの開通で更なる観光活性化に期待される。

②企業立地の支援

福島市西部のＩＣ周辺には大規模な工業団地が立地し、製造品出荷額は福島市の5割を占めている。

東北中央道の整備に合わせ、福島大笹生ＩＣ付近に新たな工業団地造成を進め、さらなる企業立地を促進する。

③スポーツ交流拡大に期待

福島市西部にはスポーツ交流施設が集積し、各施設で大規模なイベントが開催されている県内有数のスポーツ交流拠点である。

福島市は、東京五輪の野球・ソフトボールの福島市開催や合宿誘致に向け、活動を本格化させる予定であり、福島大笹生ＩＣの開通による、アクセス向上効果により誘致活動を支援する。

東北中央自動車道概要図

国道38号等災害通行止めに伴う道東自動車道の無料措置

台風10号による土砂崩れ等で通行止となっていた道東自動車道（占冠ＩＣ～芽室ＩＣ間）は、９月１日（木）に土砂の除去等の復旧が完了し通行できるようになった。

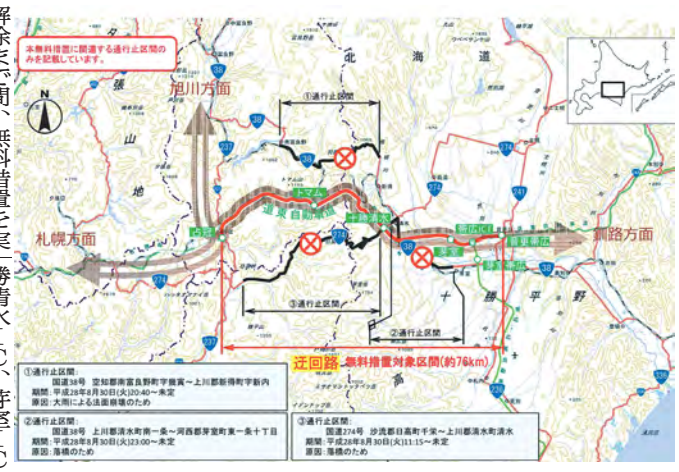
なお、国道38号及び２７４号が落橋等の大規模な被災のため通行止が長期に及ぶことから、並行する道東自動車道の占冠ＩＣから音更帯広ＩＣ間において、９月１日（木）から国道38号及び国道２７４号の通行止解除まで間、無料措置を実施することとした。

【対象】

占冠ＩＣ、トマムＩＣ、十勝清水ＩＣ、芽室ＩＣ、帯広ＪＣＴ、音更帯広ＩＣ

【対象車種】

全車種



迂回経路

電気自動車用急速充電設備の充電サービス開始

ＪＢ本四高速は、電気自動車用急速充電設備の整備を進めているが、新たに５箇所のパーキングエリアに、電気自動車用急速充電設備を設置し、８月９日（火）から充電サービス（有料）を開始した。

【充電サービス開始箇所】

◇神戸淡路鳴門自動車道　淡路島南ＰＡ　上り線　１基・下り線　１基

◇瀬戸中央自動車道　与島ＰＡ　上下線一体　１基

◇西瀬戸自動車道　瀬戸田ＰＡ　上り線　１基・下り線　１基

主張

将来の担い手の確保を

建設労働者の不足が叫ばれて久しいが、８月22日付の建設通信新聞１面において「建設業の雇用環境改善鮮明」、「賃金アップ」、「入職率増加」とのニュースを見つけ少し安堵した。その内容は、厚生労働省の「毎月勤労統計調査」において、６月分の建設業の月間給与総額が６・４％増の47万８，３１５円。また、産業別労働者総数調査における建設業総労働者数が２・５％増の２９８万２千人。加えて、東京労働局公表の新規求人のための上限賃金額（各企業が求人票に記載した金額）も41万円を突破したとのことであった。

また、８月29日付の建設工業新聞には、「設計労務単価の見直しなどが奏功し、東日本大震災後に問題化した現場の人手不足も大幅に改善している。」との記事もあった。

人手不足が改善しているのは喜ばしいことであるが、ここで注意したいのは、現時点も以前も「建設業界が人手不足のため工事を執行することができない」ということは一度もなかったということである。「公共事業の予算をいくら準備しても工事が執行できないから無駄である」という論調は明らかに間違っており、現時点において手持ち工事の執行に不安な点はない。

ではなぜ、建設業界や国交省、厚労省などは担い手の確保が喫緊の課題として様々な政策や取組を行っているのであろうか。それは、このまま若手の入職が進まず労働者の高齢化が解消しなければ10年先には業界全体として立ちゆかなくなるおそれがあるためである。

建設業に若い人が振り向かなくなった理由は何であろうか。まず思いつくのは賃金と建設業へのイメージであろう。ベテランの人達は口々に「夏は暑く冬は寒い外の現場でも、働くと働く分だけ高収入になり、同世代の人と比べても「いい給料」をもらっていた。」と言う。しかし、一時期、建設労働者の賃金は昔と比較してかなり下がった。これでは厳しい現場で働こうと考える人が減っても仕方がない。少し前には「コンビニでバイトしても給料は同じ」と言われていた時期もあったが、この点が改善していることは何よりも喜ばしい。

次にイメージであるが、建設業は「３Ｋ」であるとよく言われる。「３Ｋ」とは「きつい、汚い、危険」であるが、これは現在の建設現場を見学してもらえばイメージが変わる可能性が大きいのではないか。高校生の進路に一番大きな影響を与えるのは母親と担任の教諭であると言われるが、その人達にぜひ最新の建設現場を見学してイメージを一新してもらいたい。

蛇足であるが、ある工業高校の先生が考えた「新３Ｋ」というものがあり、「給与、勤務地、休暇」、この３点が揃わなければ今時の高校生は就職しないとのことであった。的確な表現であると感心した。

高速道路の主な通行止め・規制情報

【通行止め】

◇徳島自動車道　土成ＩＣ～川之江東ＪＣＴ
9月26日（月）～10月1日（土）　20：00～6：00
10月3日（月）～10月8日（土）　20：00～6：00

◇今治小松自動車道　今治湯ノ浦ＩＣ～いよ小松ＩＣ間
10月3日（月）～10月8日（土）　20：00～6：00

◇徳島自動車道　徳島ＩＣ～脇町ＩＣ
10月17日（月）～10月22日（土）　20：00～6：00
10月24日（月）～10月29日（土）　20：00～6：00

◇東九州自動車道
大分宮河内ＩＣ～佐伯ＩＣ
10月3日（月）～10月8日（土）　22：00～7：00
10月11日（火）～10月15日（土）　22：00～7：00
中津ＩＣ～速見ＩＣ
10月24日（月）～10月29日（土）　21：00～6：00
10月31日（月）～11月3日（木）　21：00～6：00
速見ＩＣ～日出ＪＣＴ
10月24日（月）～10月29日（土）　22：00～6：00
10月31日（月）～11月1日（火）　22：00～6：00

◇日出バイパス　速見ＩＣ～日出ＩＣ
10月24日（月）～10月29日（土）　22：00～6：00

◇大分自動車道
由布岳ＰＡ（下り線）
10月3日（月）～年10月8日（土）　22：00～6：00
由布岳ＰＡ（上り線）
10月13日（木）～10月15日（土）　22：00～6：00
10月17日（月）～10月20日（木）　22：00～6：00

【工事規制】

◇阪神高速3号神戸線　阿波座ＩＣ～大和田ＩＣ
8月17日（水）～10月16日（日）　20：00～6：00

◇中国自動車道　福崎ＩＣ～山崎ＩＣ
9月9日（金）～12月15日（木）

◇長崎自動車道　日岳トンネル付近（大村ＩＣ～諫早ＩＣ間）
平成28年9月5日（月）～平成29年7月28日（金）

平成28年9月21日（水）～9月30日（金）
秋の全国交通安全運動
9月30日（金）は「交通事故死ゼロを目指す日」です